


事業概要【複業人材を活用したDX推進による市内産業の魅力向上プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	静岡県 沼津市	初回採択回	令和5年度 第67回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	10,335千円 (4,496千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション (しごとと創生)
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・複業人材を活用し市内企業のDX等の推進を図る ・ICT企業等の誘致を図る ・ICT関連のスキルを有する人材の流出を防止する 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○複業人材活用促進事業 複業人材による実践的な勉強会を実施し、企業内の中核人材の育成、企業の経営基盤強化につなげる。</p> <p>・複業人材マッチング支援事業（委託）2,497千円</p> <p>○IT企業誘致促進事業 本市の労働環境や移住環境等について体験してもらい、IT企業の誘致を図るため、体験型視察ツアーを実施する。</p> <p>・沼津市体験型視察ツアー（委託料）1,999千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①本事業を通じDXに取り組んだ市内企業数（当該年度目標値15社） ②沼津市体験型視察ツアーへの参加社数（当該年度目標値30社） ③本事業を通じて当市で拠点を開設した企業数（当該年度目標値4社） ④沼津市デジタル人事育成プログラムへの参加人数（当該年度目標値30人） 		関連URL https://www.city.numazu.shizuoka.jp/business/topics/2023/keieijuku_workshop/index.htm

事業概要：デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーク事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	53,213千円
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業がまちづくりに携わることで、企業の価値向上とまち魅力増進を実現する。 ・労働者や学生を含む市民が、まちづくりに取り組みながら主体的に暮らすことでウェルビーイングを実現する。 ・市民や企業の多様な活動がまちづくりデジタルプラットフォーム上で可視化され、ネットワークが形成される。これらの動きにより転出リスクを下げ、新たに人を呼び込み、地域の人口減少に歯止めをかける。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	<p>【事業概要】 市内企業のこれまでのまちづくりへの参画成果を踏まえた担い手の存在を模索し、自立的に活動されるよう誘導していく。また、学生も含む市民の活動を、企業が新しい取組の参考にする等、デジタルプラットフォーム上で可視化されたネットワークが生む自立的なサイクルを回していく。デジタルプラットフォームの財源確保に取り組み、持続的・自立的なプラットフォーム継続を目指す。</p> <p>【主な経費】 ◎企業版リノベーションスクールの実施（委託料8,130千円、需用費187千円、使用料150千円）◎実行協議会に対する補助（補助金1,500千円）◎企業や学生を含めた市民の活動をマッチングするイベント開催（委託料990千円）◎まちづくりデジタルプラットフォーム導入のほか、まちづくり成功体験を植え付けるワークショップ業務実施（委託料10,500千円）</p>		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の人口（▲3,900人） ②企業新規プロジェクト数（+25件） ③市民新規プロジェクト数（+30件） ④まちづくりデジタルプラットフォーム登録者数（+600人） 		<p>URL</p> <p>※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</p> <p>http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/machi/index.htm</p>

事業概要【沼津まちなか自動運転実証運行事業】

申請者	静岡県沼津市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,440千円 (59,440千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生	
目的・効果	自動運転技術を活用し、沼津駅から沼津港間での自動運転実証運行を行うことで、市民の日常生活を支えるとともに、観光資源を活用しながら中心市街地への回遊性を高め、経済効果の波及に繋げることができる持続可能な交通システムの構築を目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 JR沼津駅-沼津港間でレベル4自動運転に向けた実証運行を実施する。路車協調システムの整備等により手動介入率の低減を図り、新たな移動サービスの提供を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 ・路車協調システム（信号連携器）の設置と合わせて、自動運転車両の運行を行い、信号誤認識による手動介入の減少について検証を行う。 （車両調達費（リース）15,785千円、信号連携器設置・撤去3箇所14,850千円） ・バス運行事業者による遠隔監視を行うことにより事業者目線の課題を明確にし、作業経験を得る。 自動運転車両のPR、アンケート調査の実施。社会受容性を高めるとともに、広告先や協賛などの事業協力者の候補者を洗い出す。 （遠隔監視システム設置、チラシポスター印刷を含む実証実験の運営計画等業務委託28,666千円、車両ラッピング経費139千円）</p>					 <p>↑ 自動運転車両 (BYD J6)</p>		<p>信号連携イメージ</p> 
地域の多様な 主体の参画	自動運転に精通した大学から最新知見の情報提供・アドバイスを受け、路線バス運行事業者との調整を行い、事業効果の意見交換を実施するとともに、地元企業や自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>★①観光交流客数 (+7,900人)</p> <p>②公共交通利用者数 (+4,100人/日)</p> <p>③まちなかへの来訪者数 (+10,059人/日)</p>	